

第2回日本光学会・SPIE 合同国際会議 (ICOSN 2001)

昨年 First OSJ-SPIE Joint Conference として好評裡に開催されました ICOSN の第2回目の会議を下記の要領で開きます。

名称：2001 International Conference on Optical Engineering for Sensing and Nanotechnology

センシングとナノテクノロジーのための光工学国際会議 (2001年)

略称：ICOSN 2001

日程：2001年6月6日(水)～8日(金)

会場：パシフィコ横浜会議センター (〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1 電話 045-221-2121)

交通：JR 京浜東北線・東急東横線桜木町下車徒歩12分。横浜駅からバスで10分。

主催：日本光学会(応用物理学会), SPIE(国際光工学会), 日本光学測定機工業会

参加費：35,000円(2001年5月10日以前の参加申し込み), 40,000円(2001年5月10日以後の参加申し込み), 10,000円(学生)

注) 著者の参加登録締切は2001年3月7日

会議のスコープ:

光波センシング技術: 干渉法, ホログラフィー, スペックル, モアレ, ファイバセンサ, 散乱, 偏光, 顕微鏡, 分光等

ナノテクノロジー: マイクロマシーニング, 微細構造センシング, 光リソグラフィー, パターンの生成と変換等

デバイスおよび要素技術: 回折光学, 波長以下の光学, フォトニック結晶, 微小光学, 光導波路, 可同調光源等

システム応用: 光記録, 環境モニタリング, 光フィードバック制御, 光通信, 生物・医用応用等

物理光学技術: 近接場顕微鏡, 位相共役光学, 赤外・紫外・X線技術等

論文概要提出期限: 2000年11月15日

論文概要提出: 論文概要はWeb経由, E-mailまたはFaxにてSPIEに提出してください。詳しくは下記のWebsiteを参照してください。提出された論文はプログラム委員会により審査され, 採択された論文はSPIE Proceedingとして出版されます。

サテライト会議: 会議のサテライトとして下記の要領で招待講演会/見学会が開催されます。

テーマ: IT技術のための光学

日程: 2001年6月11日(月)

場所: なら100年会館

参加費: 4,000円

見学会は関西文化学術研究都市内の研究施設を予定しています。

企業の方々へ: 展示会参加へのお願い

同時開催される「光ナノテクフェア2001, 第38回全日本光学測定器展」会場内に特別展示コーナーを設置いたします。特別料金による展示および国際会議参加が可能となりますので, ぜひお申し込みください。

連絡先:

ICOSN 2001 大会委員長 岩田耕一(大阪府立大学)

電話 0722-54-9213

E-mail: k-iwata@measure.mecha.osakafu-u.ac.jp

ICOSN 2001 実行委員長 高橋信明(防衛大学校)

電話 0468-41-3810 E-mail: tak@cc.nda.ac.jp

ICOSN 2001 サテライト会議担当 伊東一良(大阪大学)

電話 06-6879-7850 E-mail: itoh@ap.eng.osaka-u.ac.jp

ICOSN 2001 展示会担当 中村一則(古河電工)

電話 03-3286-3025 E-mail: kazu50@ho.furukawa.co.jp

URL: <http://spie.org/web/meetings/calls/icosn01/>

<http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/osj-ap/index.html>

平成12年度日本光学会奨励賞および授賞式

本年度の日本光学会奨励賞は有本英伸氏(大阪大学大学院工学研究科)が受賞されることになりました。対象論文は以下のとおりです。

“Interferometric three-dimensional imaging based on retrieval of generalized radiance distribution,” Opt. Rev., 7, No. 1 (2000) 25-33.

なお, 授賞式は下記のとおり Optics Japan 2000 にて行われます。

日時: 2000年10月8日 9:00~10:00

場所: 北見工業大学

平成12年度日本光学会北陸信越講演会

日時: 2000年11月1日(水) 14:30~17:50

会場：新潟大学工学部大会議室

テーマ：「縞パターン投影を用いた光精密計測技術」

内容：

講演

- 1) 14:30~15:20 インTRODクドクトリートーク「最近の格子パターン投影法を用いた形状計測」
大谷幸利（東京農工大学）
- 2) 15:20~15:50 「光線追跡法と干渉縞解析法を用いた放物面ミラーの形状誤差測定法」
野村 俊（富山県立大学）
- 3) 16:00~16:30 「縞投影法を用いた微小回転角度の測定」
鈴木孝昌（新潟大学）
- 4) 16:30~17:00 「正弦波振動する正弦波状縞パターンを用いた金属円筒の直径計測」
佐々木修己（新潟大学）

研究室見学：17:20~17:50

参加費：無料

参加申込：準備の都合上、氏名、所属、連絡先を事前に下記にご連絡ください。

申込み・問合せ先：

新潟大学工学部電気電子工学科 佐々木修己

〒950-2181 新潟市五十嵐二の町 8050

電話/Fax 025-262-6747

E-mail: osami@eng.niigata-u.ac.jp

会場の位置、交通手段、内容などの詳しい案内は <http://teoptlab.eng.niigata-u.ac.jp/whats.html> をご覧ください。

日本光学会資料室のご案内

日本光学会では4月1日より日本光学会資料室を開設致しました。20名程度まで利用できる会議スペースもあります。各種委員会、研究グループの会合等に、下記の利用規定を守ってご利用ください。

申込み方法：使用日時、使用グループ名、責任者、所属、E-mail address、申し込み幹事名を記載して、庶務幹事宛 E-mail でお申し込みください。

所在地：千代田区九段北1丁目4番4号九段下高橋ビル
5階 電話/Fax 03-3221-0222

日本光学会資料室利用規定（抜粋）

1. 本資料室は平成12年4月1日より開設し、次の目的に利用する。
 - (1) 幹事会、編集委員会、各種実行委員会など日本光学会の集会の開催

(2) 幹事会資料、刊行物バックナンバーの保管

(3) 光学関係文献などの収集・保管

2. 本資料室に保管する資料は幹事会で了承されたものに限る。

3. 集会等で本資料室を使用する場合、および、資料の搬入または閲覧等で本資料室に入室する場合には以下の規定にしたがうものとする。

3-1. 使用の責任者は、日本光学会の幹事に限る。（研究グループなどが使用するときは、幹事を通じる。）

3-2. 使用にあたっては、原則として1週間前までに庶務幹事（総務）に申し込むものとする。

3-3. 使用時間は、原則として、応用物理学会本部の勤務時間内とする。（9時~17時）

以下、省略。

その他、鍵の保管、清掃についての規定があります。申し込み時にお知らせしますので、必ずお守りください。

カラーフォーラム JAPAN 2000

光学四学会幹事会 [日本光学会 (応用物理学会) ほか] が主催するカラーフォーラム JAPAN 2000 が、2000年11月15日 (水)~17日 (金) の期間、工学院大学において開催されます。詳細につきましては、本誌第29巻第9号の綴じ込み案内、またはホームページ <http://vision.tp.chiba-u.ac.jp/colorforumj2000/> をご覧ください。

光設計研究グループ第3回光設計賞

光設計研究グループ主催で“第3回光設計賞”を実施し、以下の通り、光設計に関するすぐれた研究、技術、発明に賞を授与することになりました。

○光設計大賞

「多項式自由曲面ミラーを用いたマルチビームレーザー走査光学系の設計」

稲垣義弘氏 (ミノルタ (株))

○光設計優秀賞

「ビーム形状変換光学系」

本宮佳典氏 ((株) 東芝)

「複屈折 DOE 偏光変換光学系の開発」

石原 淳氏 (ミノルタ (株))

「コンパクトデジタルカメラ用ズームレンズの開発」

石井敦次郎氏、三原伸一氏、宮内裕司氏、西村和也氏 (オリンパス光学工業 (株))

○特別賞

「ゾルゲル法による低分散 GRIN 光学系の開発」

植田博文氏、野田 聡氏 (オリンパス光学工業

(株))

Optics Japan 2000 の会場で表彰式を行う予定です。

光波シンセシス研究グループ (Research Group on Lightwave Synthesis) 入会のお誘い

このたび、日本光学会に表記の研究グループが発足いたしました。既存の研究分野にとらわれず、異分野の研究者が交流することによって、光学研究に新たなブレイクスルーをもたらすことをねらいとした研究グループです。年数回の研究会と応用物理学会、Optics Japan でのシンポジウム等を活動の中心とし、最新の研究成果の紹介と議論を通して、これまで作り得なかったような時間・空間パラメーターをもつ光波の“synthesis”をめざします。(詳しくは設立趣意書をご覧ください。)

本研究グループでは登録会員を募集いたします。入会金、会費等はありません。会員には研究会等の開催案内等のお知らせをE-mailでお知らせします。会員相互の情報交換のためのメーリングリストの開設も予定しております。いわゆる「光学」の枠を超えて、広く光に関する研究者の方の参加を求めます。

入会ご希望の方は <http://qopt.iis.u-tokyo.ac.jp/lws> にて直接入力、または lwsoffice@qopt.iis.u-tokyo.ac.jp までE-mailをお願いいたします。

なお、第一回研究会を下記のように予定しております。

日 時：2000年12月6日(水) 13:00~17:00
会 場：東京大学生産技術研究所第1会議室(東京・六本木)

会 費：一般 2,000円、学生 無料

プログラム：

- ・光波シンセシス研究会発足にあたって
志村 努(東大)
- ・レーザー時空間波形整形
神成文彦(慶応大)
- ・ホログラフィックレーザー
尾松孝茂(千葉大)
- ・時間波形シェイピング
森本朗裕(立命館大)
- ・レーザーによる光造形
河田 聡(大阪大)
- ・炭素微粒子の合成
志村洋文・綾 信博(機械技研)

問合せ先：東京大学生産技術研究所第1部 志村 努

電話 03-5452-6139 Fax 03-5452-6140

E-mail: lwsoffice@qopt.iis.u-tokyo.ac.jp

URL: <http://qopt.iis.u-tokyo.ac.jp/lws>

設立趣意書(2000年7月)

光波の諸性質を制御し、所望の特性を持つ“光”を自在に合成したいという要求は光技術研究者の究極の夢である。このような“光”の合成は、情報通信、物性研究、材料加工、生体工学、化学合成・分析等の理学的・工学的応用の各方面からも潜在的・顕在的に強く求められている。光波の性質を決めるパラメータとしては、振幅・位相・偏光・周波数・波面・パルス波形・コヒーレンス・スペクトル・色などがある。本研究グループの目的は、“光”の各パラメータの制御性を各項目ごとに極め、同時に、各パラメータを包括的に統合する事により新たな「光波のシンセシス」の可能性を探ることにある。これまで、光技術研究者の興味は、光波が持つパラメータのうちの特定のものに絞られる傾向にあった。そのため、研究内容も、光学、レーザー、光通信、画像工学などの既存の枠組みに特化した一次元的なものが多かった。しかしながら、紫外半導体レーザー、半導体レーザー励起固体レーザー、高機能ファイバーレーザー、全固体超短パルスレーザー等、近年におけるレーザー光源の発展は目覚しく、また、非線形光学素子、波長変換素子、空間光変調器、適応光学素子等、光デバイスの性能向上も著しい。したがって、“光”を利用する研究領域が今後さらに拡大することは間違いない。このような要請に応えるため、光学、レーザー、光通信、画像工学を広く包括し、ますます多次元的に展開してゆく新しい研究領域で、「光波をシンセサイズ」する、真に役立つ光波技術を創生することが必要不可欠である。

このような背景を踏まえ、本研究会は、“光”を使う、あるいは、使おうとしている研究者に、相互の情報交換および議論の場を提供し、“光”技術に新たなブレイクスルーをもたらすことをねらいとする。

発起人：

志村 努(東京大)(代表)	伊藤弘昌(東北大)
伊藤雅英(筑波大)	上江洲由晃(早稲田大)
尾松孝茂(千葉大)	河田 聡(大阪大)
黒田和男(東京大)	武田光夫(電気通信大)
保立和夫(東京大)	峯本 工(神戸大)
谷田貝豊彦(筑波大)	

理研シンポジウム 計測自動制御学会第7回センシングフォトニクス部会講演会「新しい光応用技術XV」

主 催：理化学研究所光工学研究室、(社)計測自動制御学会、センシングフォトニクス部会

協 賛：日本光学会(応用物理学会)、(社)レーザー学

会、(社)精密工学会、(社)日本分光学会、(社)日本オプトメカトロニクス協会、(財)光産業技術振興協会

日 時：平成12年11月22日(水) 10:00~17:00

会 場：理化学研究所レーザー研究棟大河内記念ホール、東武東上線、営団地下鉄有楽町線「和光市」駅下車徒歩約15分

本シンポジウムは、光科学と光応用技術の最新の成果と今後の動向に関する発表と討論を目的として、1985年から国際会議(IWI'96)を含めて毎年開催している。今回は光干渉法の応用に関する発表が中心となっている。形状計測技術として、デジタルホログラフィー、フィードバック干渉計、時間的位相接続法、液面観察法を取り上げた。また、干渉法の新たな応用として、量子情報処理を取り上げた。このほかに、細胞機能の可視化技術、金微粒子の光学的特性、光機能性単分子膜についての発表を行う。これらのトピックスに対して活発な討論を期待している。

プログラム：

10:00~13:00

- ・デジタルホログラフィとその応用
山口一郎(理研)
- ・フィードバック干渉法と補償光学
白井智宏(機械技研)
- ・位相検出波長走査干渉法による高精度形状測定
加藤純一(理研)
- ・光子を用いた量子情報処理
竹内繁樹(北大)

14:00~17:00

- ・細胞機能の可視化技術
宮脇敦史(理研)
- ・金微粒子における表面プラズモン共鳴とその応用
岡本隆之(理研)
- ・流体波動の光学的測定
猪本 修(理研)
- ・光で液体を動かす—光機能性単分子膜—
市村國宏(東工大)

参加費：無料

参加申込み：不要(直接、会場へお越しください。)

終了後、懇親会を行います。

問合せ先：理化学研究所光工学研究室 岡本隆之

〒351-0198 埼玉県和光市広沢2-1

電話 048-462-1111(内線3246)

E-mail: okamoto@optsun.riken.go.jp

光学薄膜技術講座—光学薄膜技術の基礎～応用コース—

講 師：平山義一氏((株)ニコン)、松本繁治氏((株)シンクロン)

期 日：2000年10月19日(木)、20日(金)

講義時間：19日13:00~17:00、20日9:30~17:00

会 場：機械振興会館地下3階研修2号室
(東京都港区芝公園 3-5-8)

主 催：(社)日本オプトメカトロニクス協会

定 員：100名

参加費：44,940円(税込)

申込み期限：2000年10月10日(火)まで

問合せ先：(社)日本オプトメカトロニクス協会
東京都港区芝公園3-5-22 機械振興会館別館
電話 03-3435-9321

平成12年度生命工学工業技術研究所研究講演会「独立行政法人化に向けた生命工学の展望」

日 時：平成12年11月2日(木) 9:30~17:10

場 所：三会堂ビル9F石垣記念ホール(〒107-0052
東京都港区赤坂1-19-13) 電話 03-3582-7451

主 催：工業技術院生命工学工業技術研究所、(財)日本産業技術振興協会

プログラム：

午前の部

9:30 開会の挨拶

栗山 博(生命工学工業技術研究所)

<生物遺伝子資源>

9:35 生物資源の高度利用技術—生理活性物質の開発と実用化—

丸山 進(生物反応工学部丸山グループ)

10:00 環境微生物群集解析：多様性から定量化への新展開

丸山明彦(微生物機能部丸山グループ)

《特別講演1》

10:25 マリン・環境ゲノム研究の展望

松永 是(東京農工大)

<分子細胞工学>

11:05 次世代ゲノム研究：ProfilingとGenotyping

木山亮一(分子生物部木山グループ)

11:30 遺伝子解明の次に来るもの—細胞増殖因子での発見—

今村 亨(生体情報部今村グループ)

《特別講演 2》

11:55 ポストゲノム時代における糖転移酵素遺伝子の機能解析—特にガン化との関連について—

成松 久 (創価大学生命科学研究所)

12:35~13:40 昼 休 み

午後の部

13:40 所長挨拶

大箸信一 (生命工学工業技術研究所)

〈脳神経情報〉

13:50 生物遺伝子資源からの神経系作用物質の探索と利用

久保 泰 (生体分子工学部久保グループ)

14:15 脳神経系初期発生の分子シグナリング機構

岡本治正 (生体分子工学部岡本グループ)

《特別講演 3》

14:40 視覚的運動制御のための脳による情報処理

河野憲二 (電子技術総合研究所)

15:20~15:40 コーヒーブレイク

〈人間福祉医工学〉

15:40 視覚機能の定量的計測と高齢化社会の環境評価

佐川 賢 (人間情報部佐川グループ)

16:05 人体3次元形状の利用技術

河内まき子, 持丸正明 (人間環境システム部河内グループ)

《特別講演 4》

16:30 人間生活工学の期待される社会的役割

大久保堯夫 (日本大)

17:10 閉会の挨拶

地神芳文 (生命工学工業技術研究所)

参加費: 無料

申込み先: (財)日本産業技術振興協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-19-5 虎ノ門1丁目森ビル5F

電話 03-3591-6272 Fax 03-3592-1368

申込み方法: 所属・所在地・電話・氏名等をご記入の上, 上記申込み先にお送りください。

問合せ先: 工業技術院生命工学工業技術研究所総務部業務課

〒305-8566 つくば市東1-1

電話 0298-61-6037 Fax 0298-61-6038

交通: 地下鉄銀座線虎ノ門下車徒歩5分, または地下鉄南北線・銀座線溜池山王駅下車徒歩3分

東京農工大学公開講座

テーマ: 次世代フォトニクスの新展開~IT革命と光技術
日時: 11月11日(土) 13:00~17:00 (東京農工大学科学技術展2日目)

場所: 東京農工大学小金井キャンパス11号館5階多目的会議室 (JR中央線東小金井駅下車徒歩7分)

講演プログラム:

1. イントロダクトリートーク
黒川隆志 (東京農工大)
2. IT時代に向けた光通信ネットワークの課題
石田 晶 (住友電工)
3. シリコン発光素子とその応用
越田信義 (東京農工大)
4. 光メカトロニクス技術とその応用
羽根一博 (東北大)
5. IT革命を拓く光情報材料
宮田清蔵 (東京農工大)
6. 次世代光メモリーの展開
佐藤勝昭 (東京農工大)

なお, 11月10日から12日まで東京農工大学科学技術展2000が開催されています。

問合せ先: 「次世代フォトニクスの新展開」公開講座事務局 大谷幸利

〒183-8588 小金井市中町2-24-16 東京農工大学工学部機械システム工学科大谷研究室内

電話 042-388-7103 Fax 042-385-7204

E-mail: otani@cc.tuat.ac.jp

技術講座「光機器の光学II」

開催日: 平成12年11月14日(火), 15日(水), 21日(火), 22日(水), 29日(水) 計5日間

会場: 機械振興会館別館4階 (財)日本オプトメカトロニクス協会会議室 (東京都港区芝公園 3-5-22)

主催: (社)日本オプトメカトロニクス協会

問合せ先: (社)日本オプトメカトロニクス協会
東京都港区芝公園 3-5-22 機械振興会館別館
電話 03-3435-9321

定員: 30名

第8回カメラ技術セミナー

日時: 2000年11月17日(金) 10:00~19:00

場所: 発明会館B2Fホール (東京都港区虎ノ門2-9-14)

講演内容 (予定):

- ・モバイル時代のデジタルイメージング
小宮山桂 (京セラ)
- ・天体のデジタル撮影におけるハードとソフト
山野泰照 (ミノルタ)
- ・デジタルフォトインクジェットプリンターの高画質化
技術
田鹿博司 (キヤノン)
- ・女性と写真
青木明節 (マガジンハウス)

定員：200名

参加申込期限：2000年10月31日

問合せ先：日本写真学会事務局 電話 03-3373-0724

E-mail: spstj@pht.t-kougei.ac.jp

技術講座「最近の非球面形状加工技術と計測技術，そして……」—最先端オプトメカトロニクス部品とその製作プロセス技術を覗く—公開セミナー

開催日：平成12年11月29日(水)

会場：機械振興会館地下3階研修1号室(東京都港区芝公園3-5-8)

主催：(社)日本オプトメカトロニクス協会

問合せ先：(社)日本オプトメカトロニクス協会

東京都港区芝公園3-5-22 機械振興会館別館

電話 03-3435-9321

定員：120名

技術講座「デジタルカメラの現状と将来展望」—公開セミナー

開催日：平成12年12月1日(金)

会場：機械振興会館地下3階研修1号室(東京都港区芝公園3-5-8)

主催：(社)日本オプトメカトロニクス協会

問合せ先：(社)日本オプトメカトロニクス協会

東京都港区芝公園3-5-22 機械振興会館別館

電話 03-3435-9321

定員：120名

新入会員

個人

会員番号	氏名	所属
A 6103184	岩崎 正則	ソニー (株)
6103185	伊藤 俊彦	ビステオンアジアパシフィック (株)

6103186	猪子 和宏	シャープ (株)
6103187	稲垣 義弘	ミノルタ (株)
6103188	清水 隆邦	いわき電子 (株)
6103189	中村 正行	信州大学
6103190	原楨 真也	有明工業高等専門学校
6103191	高浦 淳	(株) リコー
6103192	鈴木 徹	(株) 小松製作所
6103193	西原英一郎	三菱化学 (株)
6103194	秋山 陽子	北見工業大学
6103195	入谷 治	東洋紡績 (株)
6103196	瀬尾 勝広	ソニー (株)
6103197	半田 敬信	三菱化学 (株)
6103198	小藤 数広	大阪府立大学
6103199	杉本 修二	大阪府立大学
6103200	佐藤 武志	大分大学
6103201	大谷 巧	電気通信大学
6103202	松村 龍樹	理化学研究所
6103203	水谷 孝一	筑波大学
6103204	御手洗和彦	旭硝子 (株)
6103205	林 善紀	(株) リコー
B 7102	鷲尾 邦彦	日本電気 (株)
9624	藤野 隆広	大阪府立大学
9953	佐藤 卓蔵	鶴岡工業高等専門学校
19611	本間 哲哉	芝浦工業大学
25842	妹尾 具展	旭硝子郡山電材 (株)
34619	林 茂彦	三ツ星ベルト (株)
38122	鈴木 新一	日立電子エンジニアリング (株)
42106	伊藤 治彦	東京工業大学
44748	本間 道則	秋田県立大学
51492	高橋 英憲	(株) KDD 研究所
52875	猪本 修	理化学研究所
53961	山田 健一	三菱電機照明 (株)
54003	田中 健之	慶応義塾大学
54008	大藪 雅史	神戸芸術工科大学
54055	茨田 大輔	明治大学
54223	本原 寛幸	奈良先端科学技術大学院大学
54614	新谷 賢司	ソニー (株)
54616	黒坂 剛孝	三洋電機 (株)
54617	赤堀 洋道	(株) 栃木ニコン
54646	中島 悠輔	早稲田大学
54647	大野 慎也	早稲田大学
54689	守田 和就	北見工業大学

54703	堀内 恵	シチズン電子
54707	鶴沼 豊	シャープ (株)
54785	有路 潤一	東海大学
54788	大崎 直樹	東北大学
54903	三俣 真理	大阪府立大学
54904	一新 賢二	東海大学
54905	森田 展広	(株) リコー
54915	水谷 彰夫	大阪府立大学

特別会員

会員番号	団体名
7100301	金高堂外商センター
7100302	日本出版貿易 (株)
7100303	広島工業大学付属図書館
7100304	(株) 紀伊国屋書店海外本部

日本光学会 *news* の掲載申込み先 :

〒174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9 旭光学工業(株)光学研究部第1研究室 米山修二

電話 03-3960-4664 Fax 03-5392-2013 E-mail: s.yoneyama@aoc.pentax.co.jp

なお、掲載申込みは原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

日本光学会平成12年度幹事 (*常任幹事)

幹事長 :	岩田 耕一* (大阪府立大)	
副幹事長 :	松本 弘一* (計量研)	
前幹事長 :	山口 一郎 (理研)	
庶務幹事 :	佐藤 裕志* (コニカ)	大谷 幸利* (農工大)
	埜田 友也* (ニコン)	門野 博史* (埼玉大)
	石渡 裕* (オリンパス)	小野寺理文* (能開大)
	中野 隆志* (融合研)	米山 修二* (旭光学)
	伊藤 治彦* (東工大)	
『光学』編集幹事 :	大坪 順次* (静岡大)	堀 裕和 (山梨大)
	尾松 孝茂 (千葉大)	中川 清 (神戸大)
『OPTICAL REVIEW』編集・出版幹事 :	一岡 芳樹* (大阪大)	山口 一郎 (理研)
国際協力幹事 :	芳野 俊彦 (群馬大)	高橋 信明 (防衛大)
将来問題担当幹事 :	中楯 末三 (東京工芸大)	
企画・事業担当幹事 :	亀丸 俊一 (北見工大)	坂田 肇 (キャノン)
	山田 秀則 (富士ゼロックス)	本宮 佳典 (東芝)
	高梨 健一 (リコー)	天野 主税 (NTT)
	橋本 信幸 (シチズン時計)	岡井 誠 (日立)
	森 峰生 (通信・放送機構)	羽根 一博 (東北大)
	大高 真人 (福井大)	佐々木修己 (新潟大)
	藤原 巧 (豊田工大)	塩野 照弘 (松下電器)
	財部 健一 (岡山理科大)	森 邦彦 (鹿児島大)